

JAPAN GOLF ASSOCIATION

JGAGolf Journal



ワールド ハンディキャップシステム ついに始動



世界各地ですでに稼働しているワールドハンディキャップシステムが4月から日本国内でも導入されます。ゴルフ史上初となる世界共通のハンディキャップシステムとは何か、ゴルファーにどんなメリットをもたらしてくれるのか。Q&A形式で分かりやすく解説します。

Q ワールドハンディキャップシステム(以下WHS)とは、どのようなものでしょうか。

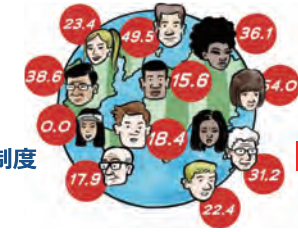
A ゴルフはプレーや用具などに関してはUSGAとR&Aが共同でつくった規則を全世界で運用していますが、ハンディキャップ(以下HDCP)には世界的な規則がありませんでした。これまでは各国のゴルフ統括団体が独自にHDCP規定を制定し運用しており、世界には分かっているだけでも6つの異なるHDCPシステムが存在しており、JGAではUSGAHDCPシステムを採用していました。各システムはそれぞれの地域で有効に運用されていましたが、同じプレーヤーでもシステムによって特徴や計算方法が異なるためHDCPの数値が変わってくるなどの課題があったのです。このままでは世界的な視点で考えれば公平とはいえません。世界中で公平に運用ができるように統一したHDCPシステムをつくろうと動き始めたのが2012年。長い年月

をかけて議論と研究を重ねてつくりあげたのがWHSです。世界各国は2020年から順次、WHSの運用をスタートさせておりますが、日本は言語の翻訳や新たな運用に混乱なく移行できるよう十分に考慮したシステム改修を行い、今年4月にいよいよ始動いたします。

Q これまでJGAが使用してきたUSGAのHDCPシステムから、どのように変わるのでしょうか。

A WHSのベースになっているのはUSGAのHDCPシステムですから大きく変わることはありませんが、より公平に、より取得しやすくなったといえるでしょう。新しくHDCPインデックスを取るためのスコアカードの枚数も少なくなります。これまで新規取得にはスコアカード5ラウンド分が最低限必要でしたが、WHSでは3枚(54ホール分)でOK。まだHDCPインデックスを持っていない方は、自分のHDCPインデックスをよりスピーディーに手にすることができるようになるの

ハンディキャップとは
技量の異なるプレーヤー同士が
公平にゲームを競い合うことができる
他のスポーツにはない、ゴルフ特有の優れた制度



2020年WHSスタート
『世界統一のHDCP制度』



世界で6つの異なるHDCP制度

2022年4月
日本国内の運用開始

★初回 HDCP インデックス取得に必要なスコア枚数

	従来のUSGAシステム	WHS
初回インデックス取得に必要なスコア枚数	18ホールスコア5枚	54ホール分のスコア



★ HDCP インデックスの上限

	従来のUSGAシステム	WHS
HDCP インデックスの上限	男子36.4 女子40.4	54.0 (男女一律)



です。HDCPインデックス算出に採用されるスコアカードの枚数が変わることも変更点のひとつです。従来は最新20枚中ベストの10枚から算出していましたが、WHSでは最新20枚中ベスト8枚が採用されることになります。更新頻度は、従来は月に1回(毎月1日)でしたがWHSではスコアを提出した翌日にすぐ更新されます。リアルタイムに更新することで、プレーヤーの最新の技量が直ぐに反映されることになるわけです。

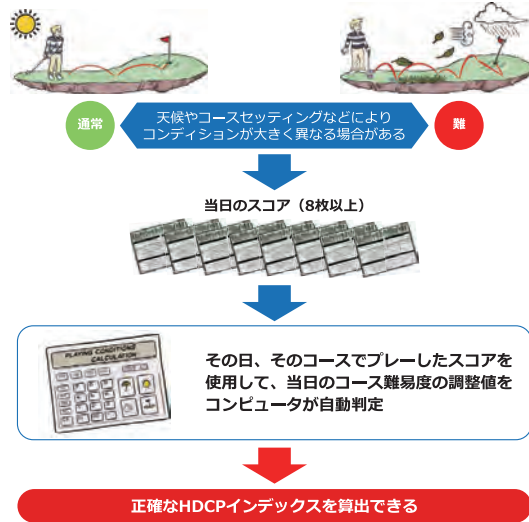
HDCPインデックスの上限が引き上げられることも特色のひとつ。現在、JGAのHDCPインデックス上限は男子が36.4、女子が40.4ですが、WHSでは男女ともに54.0となります。これによって、初心者など多くのプレーヤーが自分の技量に見合ったHDCPインデックスを取得できるようになるわけです。変更点で興味深いのはプレーイングコンディション計算(PCC)が反映されるようになったということです。

ゴルフは気象条件やコースコンディション、ホールロケーションなどによって同じゴルフ場であっても難易度は変動します。PCCは提出されたスコアからその日の難易度を判断し、通常と大きく異なる場合には調整値を加味して自動計算するシステム。こうすることでプレーヤーの技量をより正しく、公平に判断できるので。ただし、スコアの提出数が少なければ判断が難しいので「1コースにつきHDCPインデックス36.0以下の提出者8人以上」という決まりがあります。難易度の判断に採用されるのはプレー当日に提出されたスコアだけ。ただしこれまで通り、翌日以降に提出されたものも個々のHDCPインデックス算出には有効です。

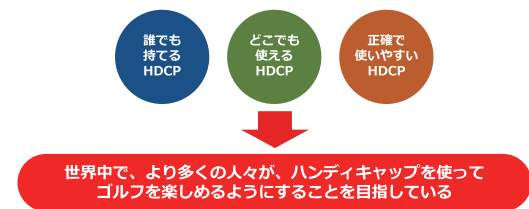
Q WHSのHDCPインデックスを取得すれば、どんなメリットがあるのでしょうか。

A まず、どこにでも持ち運びができるというメリットがあります。倶楽部固有のいわゆる倶楽部HDCP

★プレーイングコンディション計算(PCC)



★WHSの3つの理念



は一般的に倶楽部内のみで使用するものですが、ここは大きく異なる点です。持ち運びが可能なのはプレーするゴルフ場の難易度に応じてHDCPインデックスが変動するシステムだから。自分のHDCPインデックスを、その日プレーするゴルフ場、ティーイングエリアに応じたプレーイングHDCPに換算するのです。こうすることで、異なるティーイングエリアからプレーするゴルファー同士でも公平に競い合うことが可能。それだけでなく、複数のゴルフ場を使用した競技を行うこともできるわけです。もちろん、日本国内だけでなく世界規模での競技を開催することも可能。WHSを活用すれば世界のどこでも、誰とでも、公平にプレーを楽しみ、競い合うことができるのです。また、HDCPインデックス保持者はJGAや各地区連盟の主催競技などへの出場資格を得ることができます。JGA主催競技にはドリームステージExperienceのような競技初心者でも気軽にナショナルオープン開催コースなどをプレーできるアンダーHDCP競技もありますからゴルフの楽しみが一層広がります。

Q HDCPインデックスはどうすれば取得できますか。

A 取得するには、いくつかの方法があります。JGA加盟倶楽部の会員であれば、所属倶楽部を通じて取得できます。詳しくは所属倶楽部にお問い合わせください。

倶楽部に所属していない方もJGA個人会員に入会すれば取得できます。JGA個人会員は多くの方にゴルフを身近なものとして楽しんでいただくために発足した会員制度で、JGAプレミアム会員とJGAグリーンクラブ会員の2種類から選べます(19歳未満の方を対象にしたJGAジュニア会員も設置しています)。また、PGS(日本パブリックゴルフ協会)加盟ゴルフ場を通して取得できる他、楽天GORA、GDOのゴルフ情報サイトからも取得できます。現在66万人以上のプレーヤーがHDCPインデックスを取得しており、約1600のゴルフ場で使用可能となっています。

Q すでにHDCPインデックスを取得しているプレーヤーがWHSに切り替わる時に注意する点がありますか。

A 現在、稼働しているJGAのHDCPサービス「NEW J-sys」は、新たな「J-sys」に移行し、4月7日(予定)のリリース後は引き続きそのままご利用になれます。

「J-sys」ではセキュリティ強化のため、ログイン方法が変更になります。従来のシステムではログイン用のIDとパスワードはJGAから発行されたものでしたが、今度はIDが個人のメールアドレスとなりパスワードは各自で設定していただくことになります。リリース後、従来通りにログイン画面にアクセスしていただくと操作説明が表示されますので、それに従って作業を進めてください。

Q WHSのことをより詳しく知るにはどうすればいいでしょうか。

A JGAでは公式HDCP専用サイトを開設しています。このサイトではWHSやHDCPインデックスの解説、取得方法からイベント情報まで、HDCP関連のさまざまな情報を動画も使って分かりやすく発信しています。ぜひ、アクセスしてみてください。

JGA公式HDCP専用サイト



2022年 アマチュア資格規則変更

2022年1月1日からアマチュア資格規則が大きく改訂されました。この改訂は2019年に行われたプレーの規則の近代化と同様に、アマチュア資格規則を近代のゴルフ界に上手く適合させ、将来のゴルフの発展を見据えて行われたものであり、これまでの多くの制限が緩和・撤廃されたことが特徴です。ここでは条項ごとに改訂の内容とその背景についてご説明いたします。

規則1 アマチュア資格規則の目的

規則1ではアマチュア資格規則の目的が明記されています。アマチュア資格というのは競技でプレーする参加資格の一つです。競技ではその実施要項で参加資格が定められています。例えば、性別、年齢、ハンディキャップ、居住地など、参加資格は競技ごとに多岐にわたって定められ、アマチュアであること(つまりアマチュア資格規則を有していること)も参加資格として定められています。例えば都道府県アマ、地区アマ、日本アマといったそれぞれの選手権競技では参加資格に「アマチュア資格を有していること」と定められています。アマチュアとして競技に参加したいプレーヤーはアマチュア資格規則を遵守し、アマチュア資格を保有していなければなりません。

ゴルフでアマチュア資格規則が必要な理由として規則1では「ゴルフは主に自主規制であり、ゴルフ規則とハンディキャッピングの規則へのプレッシャーを最小限

にすることによって、このゲームの誠実性(完全性)を守る支援となるために、アマチュア資格規則は競技成績に基づいてアマチュアゴルファーが受け取ることのできる賞の形式や価値を制限している。」と規定しています。

少し難しい規定なので簡単にご説明します。ゴルフゲームはゴルフ規則をプレーヤー自らが適用し、必要であれば自らに罰を課して申告するゲームです。したがって、正直・誠実であることが前提となっています。同様に、ハンディキャップの規則ではプレーヤーがプレーしたラウンドの真実のスコアを正直に申告することによってそのプレーヤーの実力を反映したフェアなハンディキャップが決まります。

このようにゴルフ規則においても、ハンディキャップ規則においても正直・誠実さを前提として自主規制によってゴルフゲームはプレーされます。正直・誠実であることへの「プレッシャーを最小限にするため」という意味は、例えば賞金、賞品が高額になればなるほど、プレーヤーが正直・誠実であることを難しくする可能性があ

るということです。高額な賞金の前では誤魔化す、インチキをするプレーヤーがいるかもしれないということです。そこでアマチュア資格規則では一定の制限を設け、この自主規制が特徴であるゲームを守ろうとしているわけです。

規則2 アマチュアゴルファー

旧規則はとても複雑でアマチュアがどのような行動をしたら規則違反となるのかについて一読しただけではよく分からない規定が多くありました。新しい規則2ではアマチュアが違反となる行動を明確に5つ規定しています。

右記に関連する各規定に若干の例外規定等がありますが、原則としてこの5つの行動をしたときだけアマチュア資格規則に違反したことになります。この明確化された規則によってアマチュアでいたプレーヤーはどのような行動をしてはいけないのかをすぐに理解することができるでしょう。

アマチュアが 違反となる 5つの規定

1

規則3「賞」に基づいて認められていない賞を受け取る。

2

プロフェッショナルとしてゴルフ競技でプレーする。

3

規則4「技術指導」に基づいて認められていない技術指導をすることに対して支払いや報酬を受け取る。

4

ゴルフ倶楽部、または練習場のプロフェッショナルとして雇用される(自営業を含む)。

5

プロフェッショナルゴルファーのための協会の会員となる。



規則 3 賞

賞には賞金と賞品があります。つまり、お金と物です。新しい規則では10万円以下の価値の賞を受け取れることを認めています。スクラッチ競技とハンディキャップ競技で受け取れることのできる賞を区別しています。

スクラッチ競技では10万円以下の価値であれば賞金、賞品のいずれでも受け取ることができます。一方でハンディキャップ競技では賞金は認められず、10万円以下の賞品を受け取ることができます。

ハンディキャップ競技とは競技のスコア、成績を決める上でハンディキャップが関与するすべての競技を意味します。

10万円の価値とは、その物を受け取る時点で小売業者から通常入手可能な額となります。

この規則でいう賞金とはお金、あるいはお金と交換することを目的に作られたもの、例えば株券、債券、小切手などを意味します。一方で、物やサービスと交換する目的で作られた商品引換券やギフトカードは物として扱われます。この目的はいわゆる換金ショップでお金と取り換えることができるか、ということではなく、本来はどのように使用される目的のものであるのかで考えます。

この10万円を限度として受け取れる賞の規則は、ティーからプレーしてホールに入れる打数を競うゲームのみで、ドライビングだけのコンテストやパッティングだけのコンテストには適用されません。つまり、それらのコンテストの賞についてアマチュア資格規則は何ら制限を設けていません。

ただし、ティーからホールへプレーする通常のゴルフ競技中に行われる所謂ドラコン賞やニアピン賞には限度額が適用され、1つの競技でアマチュアが受け取れる賞の合計は10万円までとなります。例えば、優勝者に5万円の賞品、13番のドラコン賞は3万円、17番のニアピン賞は3万円の場、合計で11万円となってしまうので、プレーヤーがそれらの賞のすべてに該当しても10万円までしか受け取れることはできません。

また、旧規則では賞金のためにプレーをしたプレーヤーは実際に賞金を受け取れなくても規則違反となりましたが、新しい規則では違反となる賞を受け取った時に規則違反をしたことになります。



規則 4 技術指導

アマチュア資格規則ではアマチュアが技術指導をして報酬を得ることを禁止しています。技術指導をして報酬を得ることはプロフェッショナルゴルファーの職域であり、この規則については新しい規則でも同様です。

ただし、新しい規則では書籍やオンラインのコンテンツとしてアマチュアが技術指導をして報酬を得ることを認めています。ただし、その技術指導は特定のプレーヤーのスイングに関与するものであってはならず、あくまでも一般的な技術論や、プレーヤー本人の練習方法、プレーヤー本人の技術論に関する内容ものに限られます。つまり、特定の人にスイングに直接的に指導をすることで報酬を得ることはできません。

例えば、ソーシャルメディアに自分の技術論や、プレー風景を動画で公開し、視聴者やスポンサーから報酬を得ることはできます。しかし、特定の人にスイングを見て、どのように練習すれば良いのか、どこを修正すべきかを指導して報酬を得ることはできません。

また、ゴルフコースや練習場の従業員が労働時間中に来場者にレッスンをした場合、その来場者から直接レッスン代を受け取っていてもその労働時間の対価として給与が支払われている場合は間接的に報酬を得ていることになり規則違反となります。

スポンサー契約、宣伝、広告について

旧規則ではアマチュアがいかなる契約・合意することを禁止していました。また「手腕や名声のあるアマチュア」がその氏名・肖像を宣伝・広告に利用することも禁止されていました。

新しい規則では契約・合意について一切の制限が撤廃されました。そして氏名・肖像の利用についての制限もなくなりました。つまり、アマチュアが企業とスポンサー契約をして、契約金を受け取り、コマースに出演して出演料を受け取ったり、マネージメント会社と契約してゴルフ活動の支援を受けたりすることができるようになりました。

この規則改訂により、アマチュアが金銭的な支援を受けることができ、全国的、または国際的に活動することができるようになりますし、また新しくゴルフを始めるプレーヤーにも様々な援助の機会が増えることが期待されます。

ただし、特に若いゴルファーが企業や支援者と契約をする場合、その契約が他の契約と対立していないか、合法的なものなのか、どのような義務が生じるのか、契約相手に問題はないのかなどを慎重に検討する必要があります。トラブルを避けるために保護者や専門家（弁護士など）と協議のうえ契約をすることが勧められます。

上記のように多くの規則が撤廃・緩和され、アマチュアがサポートを受けながら活動しやすくなりますが、禁止事項もありますのでアマチュア資格を保持したい方は規則を確認しながら活動していただければと思います。なお、アマチュア資格規則を喪失した場合、復帰するためには復帰申請手続きをし、裁定された待ち期間（少なくとも6か月間）が経過しないとアマチュアに復帰することはできません。

2022年規則の全文とガイダンスノートはJGAのホームページに掲載されています。またお問合せ、復帰申請については同ホームページ上にフォームがありますのでご利用下さい。

